

ネットワーク堀

第 50 号

平成 30 年 2 月 27 日

発行
大正地区福祉
推進協議会

お互い様の共助づくり

大正地区福祉推進協議会会長

河 谷

春の訪れが待ち遠しい時節ですが、区民の皆様には、お元気で過ごしのことと存じます。

今年に入り、インフルエンザの A 型・B 型が全国的に猛威を振るっており、皆様におかれましても、日頃から「うがい・手洗い・マスク着用」等の予防対策をお心掛けいただきたく存じます。

さて、平素は大正地区福祉推進協議会の活動に対し、各種団体の皆様、また区民の皆様には何かとご尽力を賜り、心より感謝とお礼を申し上げます。

昨年十月の台風二十一号接近時は大変心配をしましたが、幸い私たちの大堀区におきましては大きな被害も無く通り過ぎ、とりあえずは安堵いたしましたところです。

このような自然災害の不安に加え、近年の急速な人口減少に伴う少子高齢化が目に見えて進む中、子育ての問題、介護の問題、社会的孤立や心身の不安、またライフスタイルの変化による「地域の生活課題」は年々深刻化し、私たちの日常生活の中にも拡がりつつあります。

このような中、大正地区福祉推進協議会としましても、全ての人が、その人らしい安心した暮らしが実現することを、地域の中で考え取り組んで行く。

・高齢者のみならず子どもさんや障害を抱えられた方に対し、個人や家族、また隣近所など、地域が差しのべ「思いやり」が拡がる環境づくりに取り組んで行く。
これからも「助け合い・支え合い・お互い様」の心を持ちながら安心してこの地域で暮らして行ける「共助づくり」を整備し、関係諸団体との連携を密にしながら地域福祉を進めて行きたいと考えております。

本年も更なるご支援・ご協力のほど、何卒宜しくお願い申し上げます。



気軽にみんなが集える 地域コミセンを目指して

桃映地域公民館 館長 足 立

一昨年より、大堀区・庵我両自治会長会、大正・庵我両地区公民館並びに市教育委員会の代表による準備委員会が設置され、その中で種々検討を重ねていただき、そして平成二十九年七月一日に市内で十館目となる『桃映地域公民館（桃映コミセン）』が開設されました。

これから桃映地域公民館を目指す方向として、

- ① 安心・安全で住んで良かった地域
- ② 若い世代の人たちが子育てしやすい地域
- ③ 文化・スポーツの交流拠点としての地域

このような方向を軸の中心に据え、大正・庵我両地域住

民の尚一層の協調と融和を進めながら「気軽にみんなが集える地域公民館(桃映コミセン)」を目指し、ニーズのある活動を実践してまいります。

大正・庵我両地域の区民の皆様との交流が益々拡がり、深まってくる事を切に願ひ、その一助になれるように努力してまいります。

今後とも桃映地域にお住まいの皆様には今まで以上のご理解とご支援を心からお願い申し上げます。

平成二十九年度 福祉視察研修会報告

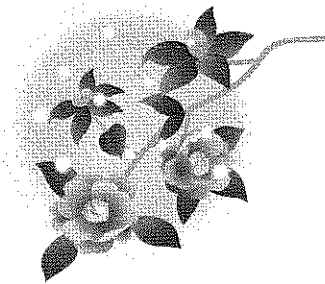
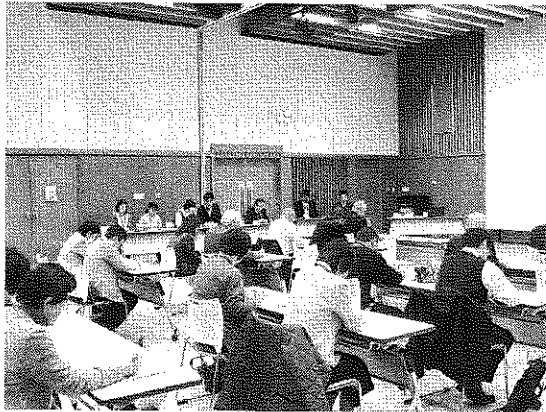
実施日：平成二十九年十一月十三日(月)

参加者：二十一名(福知山市社協職員一名を含む)

視察地：三重県伊賀市役所健康福祉部

内容：誰もが幸せに暮らし続けるための12の提案

・2025年を笑顔で迎えるための3つの戦略



伊賀市福祉事業研修ツアーに参加して

野家自治会長 高橋

昨年十一月十三日に大正地区福祉推進協議会の研修ツアーに参加させてもらいました。

当大堀区でも、福知山市の方針で、要支援・要介護の1・2級の方たちは地域で見守っていただきたいという方向になっており、その先進的の地域として伊賀市が取り組んでおられると知り、ぜひ見学したいと参加した次第です。

当日は伊賀市の施設で、市職員や社会福祉協議会の方々のパワーポイントなどを使った説明を聞きました。その後、施設を移動して、実際にどのようにして実施されているのか見学するものと思っていたところ、それで研修は終わりだとのこと。具体的な実施状況が見られると期待していましたが、すっかり肩透かしを喰らった感じでした。

食事の後、旧宿場町を散策したりしましたが、観光ツアーじゃないので、もつと「研修」に特化したツアーにして欲しかったなというのが率直な感想です。

「伊賀市における地域福祉」研修に参加して

西小谷ヶ丘民生児童委員 横岡

三重県伊賀市、忍者の里。なんて遠い所と思っていました。実際にバスに乗ってみると、滋賀県を越えたすぐの所で、意外に早く着いたので少し驚きでした。

伊賀市役所の前庭で十分程待っている間、忍者の親子(本格的な忍者装束のパパ・ママ・ボクの三人連れ)を目撃したりもしました。

その後、市役所の担当の方が出てこれられ、市役所庁舎の中ではなく少し歩いて、福知山で言えば交流プラザかハピネス福知山のような

ビルへ案内され、視察研修が始まりました。

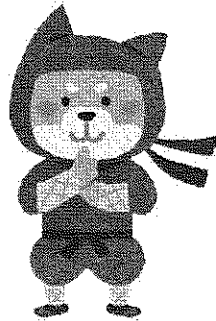
まず、伊賀市の概要の説明を受けました。平成二十九年、人口は九万三千二百二十人、高齢化率三十一・六%。

福知山市の人口は現在七万九千人ほどになっていますから、人口的には大分多いな、高齢化率も結構高いというのが私の感想です。伊賀市でも、もちろん福知山市でも人口は減り続け、高齢者数は増え、したがって高齢化率はますます高くなって行きます。どこの地域も同じだと改めて実感いたしました。

さて、伊賀市の地域福祉計画。ここで私は今までに聞いてきた言葉の一つ加えた『自助・互助・共助・公助』という言葉に出会いました。「互助」…これは隣近所、組内など一番身近な他人の助け合いや支え合いを指し、共助の基本であると思えました。この地域の力と保健医療や福祉の専門機関とをしっかりと結び、パイプ機能を充実させる事を目指しているというお話でした。

最後に社会福祉協議会の方からの実践報告、地域の活動の様子などお聞きしました。色々な方のお話や体験を聞き、皆さん頑張っておられるんだなあと感心し、研修を終えました。

伊賀市で学んだ事は、すでに福知山市でも耳にしている福祉計画で、その実現と充実に向けて少しずつでも具体的な活動を広げて行かなければならないものだと思います。



思いつくまま…

大正学区老人クラブ会長 田野島

わたくしなりの考えではありますが、PR(宣伝)の方法について日頃感じる事を書いてみます。

今の時代、テレビなど見ていて感じた疑問や関心事をパソコンやスマホのインターネットで部分的に調べる風潮になっております。そういったピンポイントの説明で理解するのではなく、もっと系統立てて、広く物事を見つめてはと考えます。

例えば、福知山市内には数々の観光スポットがありますが、意外と隠れた名所はPR不足だと思えます。

大江町なら「元伊勢内宮皇大神社」「元伊勢外宮豊受大神社」「鬼の博物館」「大江山スキー場」「和紙の伝承館」また五十鈴川の情景や大江山の展望など景観地も豊富です。

旧市内であれば、「三段池公園」「鬼ヶ城」「動物園」「植物園」、市のシンボルである「福知山城」、錦帯橋風の丸橋、「福知山市美術館」も必見です。

長田方面に行くと長田野工業団地があり、ユアサの工場では小型ロケットの部品も製造しているとの事です。福知山温泉もあり、中六人部には元内閣総理大臣の「芦田均記念館」もあり、感慨深いものがあります。

三和町に行くと「大原神社」や「細野峠」の景観も素晴らしく、憩いの場としての「三和荘」もあります。

夜久野町に行くと「玄武洞公園」「農匠の郷」「漆の館」「温泉施設」もあり、見どころ満載です。

各季節での花の見学場所としては、大文字山の下の方安寺公園の紅葉、枝垂れ桜の緑化センター、藤のオノ神、紫陽花の観音寺、牡丹の洞玄寺、ナンジャモンジャの頼光寺、スイレンの野笹、萩の養泉寺、ムクゲの久法寺、桔梗の福知山城等々、四季ごとに見物出来る所が多くあります。

ぜひ、大正地区の皆さんも近場の風景と見過ごされず、今一度、足を運ばれる事をお勧めいたします。そして他府県から一人でも多くの方に来福いただける福知山であれと願っております。

以上、私の思いつくままを書いてみました。

こんな電話はサギ!

★ 還付金サギの巻 ★

二七市役所職員: ○○市役所です。医療費の還付金があるので、○○銀行から電話があります。

二七銀行職員: 還付には特殊なATM操作が必要です。言うとおりにボタンを押せば大丈夫です。○○スーパーのATMに着いたら電話をください。

カードを入れて残高ボタンを押して表示された数字を右から読んでください。……なるほど。それではお振り込みボタンを押してあなたの個人番号である「123-456789」を入力して次に金額欄は手続き番号「4981234」手数料欄は承認番号「350」を入力して……

最後に「確認」ボタンを押してください。以上で手続き完了です。しめしめ。

★ 二セ息子の巻 ★

二七息子: 久しぶり オレオレ 風邪で声が出にくい。携帯が壊れて番号変えた 新しい番号は090-0000-0000。

会社の金を 横領した 逮捕されるかも。示談できなければ 息子さんを 告訴する!

二七 会社役員: 大丈夫ですよ 示談で解決できます。すぐに示談金を用意してください。

二セ 弁護士事務所: お金を 預かります。二セ 弁護士事務所。よろしく お願いします。

電話でお金それはサギ!

⇒ 電話でお金はサギです。絶対に相手にせず、すぐに切ってください。

私だけは大丈夫 そんなあなたが騙される

⇒ 手口を知っていても迫真の演技に騙されます。他人事ではありません。

振り込む前に 警察・家族に必ず相談

⇒ 焦らず、落ち着いて、お金を渡す前に警察、家族、知人等に相談してください。



不審な電話は最寄りの警察署又は110番へ通報をお願いします!
消費生活に関する相談は(局番なし)188番(いやや) お近くの消費生活センターをご案内します!

編集後記

今回で「ネットワーク堀」も第五十号の発行となりました。節目の回にあたり、特に目新しい企画もありませんが、今後もこの「ネットワーク堀」が大正地区の福祉推進にとつて一助となれるよう地道に歩んで行きたいと思えます。

福知山市の市民憲章に「共に幸せを生きる」という文言があります。が、少子高齢化が流行り歌のように口ずさまれる今、個々の世代だけを見つめるのではなく、幼若年・中年・老年、全ての世代が『もつと笑顔になれる福祉』を見渡し、壁の無い世代間のネットワーク交流に取り組みたいと思えます。

